

## ◆会社精神の確立を目指し後継者を研修に派遣

滋賀県近江八幡市  
有限会社  
シャロン農園

研修期間  
平成26年3月～平成26年5月

滋賀県甲賀市  
島本微生物工業  
株式会社

次世代経営者育成派遣研修支援事業の活用第1号である(有)シャロン農園は、先々代が現在の地に入植して間もなく50年を迎えます。後継者の弓削田信基さんは、創業者の苦労や創業精神を知りません。シャロン農園代表取締役の弓削田清弘さんは、信基さんを経営陣に迎える前に、一度創業の精神「**自然に優しい農法で地域農業を発展させる**」に立ち戻った上で、新たな会社の基本精神を確立したいと考えました。

この時に思い浮かんだのは、島本微生物工業株式会社の「**国の根本は農業にあり**」の基本精神です。創始者・島本覚也氏は自然に逆らわない農法に一生をささげられました。これは今も変わることなく現社長の島本久光氏を中心に会社のビジョンとして脈々と受け継がれています。



～従業員を派遣して～

(有)シャロン農園さんに  
聞きました

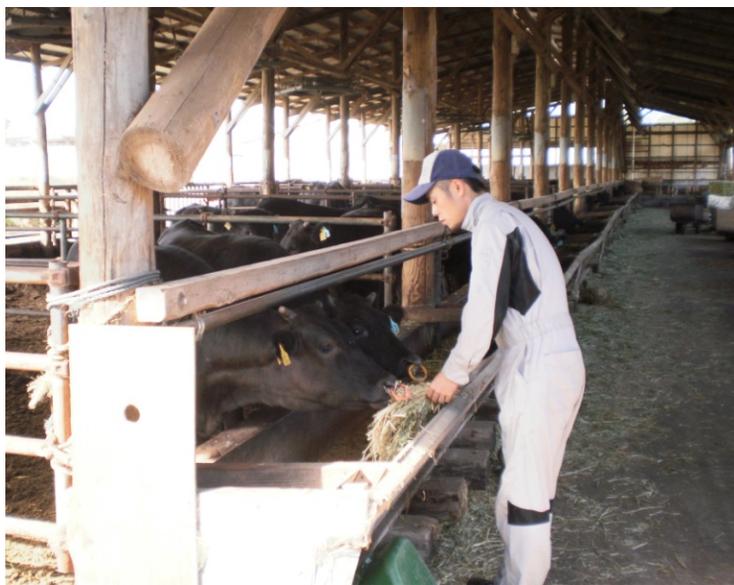
会社の重要な戦力を長期間外部へ派遣…  
どんな狙いがあったのですか？

農業法人の経営で重要なことは、会社の基本精神を確立し、従業員で共有するだけでなく、その精神を地域に発信し、地域とともに発展することだと考えています。その手法や、従業員教育のノウハウを習得する一番の早道は、他社の経営の中に入って経験的に学ぶことです。

研修とはいえ、経営者の右腕となる人材を長期に渡り外に出すということは痛手でしたが、今後は島本微生物工業株式会社で得たノウハウを活かし、地域に還元していきたいと考えています。

～派遣先で得たもの～

## 研修生 弓削田信基さんに 聞きました



派遣研修終了後取締役に登用された弓削田信基氏

これまでは、堆肥生産については感覚的なことを頼りに行っていましたが、研修で習得したノウハウを活かし、発酵時間や温度管理、堆肥の有効性について詳細に記録を取り、より品質の高い堆肥の生産や、籾殻と牛糞を使用した新たな堆肥づくりにも取り組んでいます。

平成26年11月に取締役に就任しました。島本微生物工業(株)で学んだ精神を活かし、(有)シャロン農園の基本精神を新たに確立していきたいと思えます。

## 研修で重視したことは何ですか？

高品質の堆肥生産には、細やかな技術や数々の厳しい行程が必要です。この意味は、当社の創業以来の経営の精神「自然に優しい農法で地域農業を発展させる」に帰着します。研修では、堆肥の材料が持つ本質の把握や農産物栽培への実証試験等を行いました。これを通じて、高品質堆肥生産のノウハウを習得できるように意識しました。

また、「地域に還元することで会社が発展する」という理念をなぜ確立してきたかを理解してもらったことを重視しました。

## 受け入れのメリットはありましたか？

当社では、木材チップ堆肥や微生物資材(バイムフード)を活用した土壌改良を行っていますが、このような先駆的な取り組みを他の農家に普及することができます。

さらに、従業員が研修生に指導する場面がありますので、自社の独自農法を他に伝えることの重要性を従業員が再確認する良い機会になりました。

～研修生を受け入れて～

受入法人  
島本微生物工業(株)  
さんに聞きました



興味を持たれた方は全国農業会議所へ→→→